

看護教育論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・江守陽子

科目担当者（職位・氏名）：教授・濱中喜代、永井睦子

対応DP：人間力 ケア・スピリット 人間の実践的理解 専門的知識・技術とその臨床実践
多職種連携・チームワーク アドボカシー

科目記号：100

■ 授業概要

看護教育制度の歴史的発展過程と現状と課題、看護学におけるカリキュラム、学習における理論、方法、教育評価について教授する。また、教育活動に必要な教育環境の設計、能力開発・人材育成の方略を教授する。看護実践能力を獲得していくうえで看護職として必要な教育環境の設計、能力開発・人材育成の方略、継続教育の方法などを提示し、キャリア開発の視点から看護専門職として自律的に学び続けることのできる基盤づくりを目指す。

■ 到達目標

1. 看護教育制度の歴史的発展過程と現状と課題について説明できる。
2. 看護教育カリキュラム、学習における理論、方法、教育評価について説明できる。
3. キャリア開発の視点から看護専門職として自律的に学び続ける基盤を身につけることができる。

■ キーワード

看護教育学、看護教育制度、看護教育カリキュラム、授業設計、教育評価、能力開発・人材育成、継続教育

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	教育とはなにか 教育の場 教育の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・看護教育論を学ぶ意義 ・機能化された社会における教育 ・人間の成長を支える社会システム ・家庭教育と学校教育 ・学校教育（初等・中等・高等教育） ・教育基本法、教育の目的、学ぶ権利 <p style="text-align: right;">（講義）</p>	江守
2	看護教育制度	<ul style="list-style-type: none"> ・看護教育制度の原点、成立過程 ・看護教育制度の歴史の変遷、現状 ・諸外国における看護教育 <p style="text-align: right;">（講義）</p>	濱中
3	看護学教育の基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育 ・キャリアマネジメント ・職業的アイデンティティ ・クリティカルシンキング ・リフレクション <p style="text-align: right;">（講義）</p>	江守
4	カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目的・目標 ・看護基礎教育課程のカリキュラム ・看護教育カリキュラムデザイン ・カリキュラム評価 <p style="text-align: right;">（講義）</p>	濱中
5	授業設計と教育評価（講義・演習）	<ul style="list-style-type: none"> ・看護教育における授業の特徴 ・授業設計と教育評価の基礎知識 ・授業設計と授業デザインの考え方 ・授業展開の実際 ・授業評価と授業リフレクションの考え方 ・自己評価と他者評価 <p style="text-align: right;">（講義）</p>	永井
6	授業設計と教育評価（臨地実習）	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学教育における臨地実習の位置づけ ・指導目標、内容、方法、評価 ・臨地実習での課題の検討 <p style="text-align: right;">（講義）</p>	濱中

7	<p>成人学習者の特徴と学習理論 生涯学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成人教育とは何か ・成人学習者の特徴と学習理論 ・生涯学び続けるということ ・教育制度の特徴と現状：大学院教育、 卒後教育、新任教育、院内教育 ・看護師の資格：認定看護師、専門看護師 ・特定行為に係る看護師の研修制度 <p style="text-align: right;">(講義)</p>	永井
8	<p>わが国の医療政策と看護教育の関係 これからの看護教育の在り方について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の医療提供体制と現状 ・医療施設の再編と看護教育への影響 ・医療政策と医療従事者の育成 <p style="text-align: right;">(講義)</p>	江守

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

レポート 80%、授業への参加度・態度 20%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

レポートについては、講義の途中で複数回の提出を求め、理解度を評価し、次回の講義の組み立て・内容に反映させる。

■ 教科書

特に定めない。

■ 参考書・参考資料等

- ・ グレグ美鈴、池西悦子編（2024）『NiCE 看護教育学 改訂第3版』 南江堂
- ・ 佐藤みつ子他著（2009）『看護教育における授業設計 第4版』 医学書院
- ・ 舟島なをみ監修（2020）『看護学教育における授業展開 第2版』 医学書院
- ・ 杉森みどり他著（2024）『看護教育学 第8版』 医学書院
- ・ 目黒悟・永井睦子（2013）『看護の学びを支える授業デザインワークブック；実りある院内研修・臨地実習・講義・演習に向けて』 メヂカルフレンド社
- ・ 目黒悟・永井睦子編著（2023）『共にかかわる・共にケアする豊かな看護教育を創る授業デザイン・授業リフレクションの実際 臨地実習編』 メヂカルフレンド社

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業前後に予習、復習をすること。授業 1 コマにつき、事前・事後学修それぞれ 90 分程度（計 180 分程度）必要とする。

紹介した参考書を読む。

授業の復習・予習として与えられた宿題をし、提出する。

■ 担当教員からのメッセージ

大学の現任教員として、病院での看護職の経験、実習指導者講習会の講師の経験等を活かし、看護教育論について講義を行います。

皆さんが今、受けている看護教育について詳しく学びましょう。教育を受けていて疑問に思っていることを解決し、今後、自律的に学ぶ動機付けとしましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

江守：研究室 14、emori★iwate-uhms.ac.jp

濱中：学長室、hamanaka★iwate-uhms.ac.jp

永井：研究室 17、nagai★iwate-uhms.ac.jp

特に定めませんが、事前に連絡して訪問してください。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

担当教員は全員が医療施設での看護師業務の経験と、大学、看護師養成施設、臨床指導者講習等における教員・講師等の経験を有しております。

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

医療施設での看護師業務の経験、大学、看護師養成施設、臨床指導者講習等における教員・講師等の経験、臨地での看護学生への実習指導経験を活かし、看護教育についての初学者が興味を持ち、理解できる講義を行います。